

# まちの日記帳



## 漁師の仕事体験！

余別小学校・ウニ養殖見学会

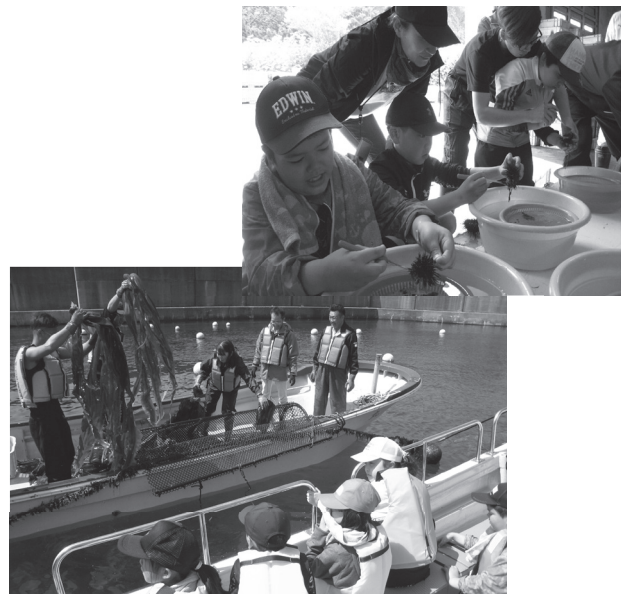
6/8

余別小学校児童8名は、東しゃこたん漁業協同組合積丹地区青年部が余別漁港内で行っているウニ海中籠養殖の見学とウニ剥き作業を体験しました。

磯焼けで実の痩せたウニの入った籠を海中から引き揚げ、餌の養殖コンブを入れる作業を見た児童は「ウニ何個入っているの?」「コンブ大きいね!」と真剣に見学。

ウニ剥き体験では、慣れない手つきでウニの実を取り出し、洗浄した後に味を確かめました。

児童たちは、磯焼け対策として行われている養殖や、美味しいウニを味わいながら漁業の魅力を体感しました。



## 豊かな自然を楽しく学ぶ

少年教室 「森の冒険!～自然にふれ合おう～」

6/17

郷土の自然の中で遊び、森林にふれあう少年教室『森の冒険!～自然にふれ合おう～』が「元気の森」(余別町)を会場に行われ、13名(児童11名、保護者等2名)が参加しました。

子どもたちは植物の観察や学習に興味を示し、積極的に森林を探索。後半には、森の植物で自分だけの万華鏡を作り、みんなの前で発表するなど、交流を深めながら楽しく活動しました。



## いつも美しい漁港に

美国漁港利用協議会『清掃活動』

6/25

美国漁港プレジャーボート利用者で構成する美国漁港利用協議会(八戸 良一会長)が清掃活動を実施しました。

きれいな漁港で観光客を迎えるため、観光シーズンが本格化する前に毎年実施しています。

当日は、会員と町職員、約40人の参加者が、約1時間かけて40リットルゴミ袋約40個分のゴミを収集。

八戸会長は「漁港をきれいに保つために、漁港を利用する方一人ひとりガルールとマナーを守って楽しんでほしいです。今後も積極的に清掃活動を実施していきます。」と話していました。



### 更なる技術向上へ日々訓練！

北後志消防組合積丹支署では、「もしも」に備え、日々訓練を積んでいます。今月は2つの訓練を紹介します。

#### 警防救助訓練・伝達講習

6月15日は、火災現場で建物内に逃げ遅れた要救助者の救出を想定した警防救助訓練と伝達講習を行いました。参加した隊員は、現場経験や訓練で培った技術・知識を用いて「安全・確実・迅速」に救出する方法や火災救助に特化した救助キットを考案しました。



▶「ファイヤーコントロールボックス」燃焼実験

また、北海道消防学校で燃焼実験を体験した入間川大幸主幹が伝達講習を担当し、職員が作った模型の家「ファイヤーコントロールボックス」を用いた燃焼実験を支署車庫内で行いました。

この実験は、火災建物内部の状況変化や危険性をイメージし、適切な換気方法や注水要領なども確認できるため、職員は火災の危険性を再確認し、知識の共有を図りました。

#### 水難救助訓練

7月10日から3日間、美国小泊海岸で水難救助訓練を実施しました。



▲水難救助訓練

水難救助訓練は毎年行っており、レスキューボードやSUPを使い、海で溺れた人を岸まで救出する訓練や、行方不明者を捜索する検索訓練を行いました。

海の事故に備え、これからも継続して訓練を行っていきます。

### 相次ぐ豪雨災害から家族と自分の命を守る

### 大雨に備えて「キキクル」の利用

台風や大雨による災害は毎年全国各地どこかで発生しています。気象庁はこのような気象災害による被害を防止・軽減するために、警報等の防災気象情報を発表して、注意や警戒を呼び掛けています。

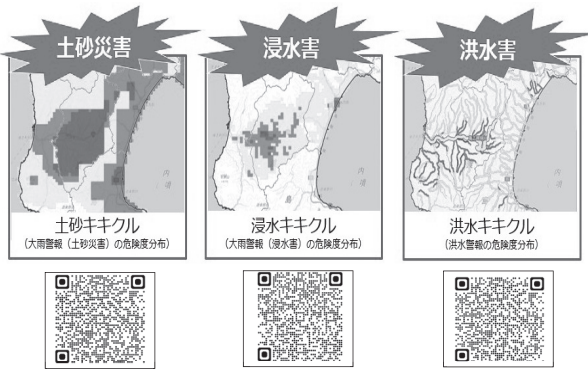
また、皆さまがお住いの地域の危険度を知ることができる『キキクル（危険度分布）』は、大雨により発生する土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度の高まりを地図上に5段階で色分けして表示します。

『キキクル』は1〜3時間先までの予測を加味した情報ですので、警報・

注意報が発表された時には、キキクルで自分のいる場所の危険度を確認し、早めに避難するなど警戒レベルに応じた防災行動をとりましょう。

#### キキクルの種類と表示例

(2022年8月16日の渡島半島での大雨事例)



#### 凡例 (土砂キキクル)

土砂災害の危険度	色	説明
高	黒	災害切迫 【警戒レベル5相当】
危険	紫	危険 【警戒レベル4相当】
警戒	赤	警戒 【警戒レベル3相当】
注意	黄	注意 【警戒レベル2相当】
低	白	今後の情報等に留意

#### 《取るべき行動》

- 黒：命の危険！ すぐに身を守って
- 紫：危ない場所から全員避難
- 赤：高齢者などは早めに避難

札幌管区気象台地域防災推進課 (電話：011-611-6149)

## 地域活動支援センター「リカバリーしりべし」 出張交流会開催のお知らせ

地域活動支援センター「リカバリーしりべし」は、障がいや病気、ひきこもり、不登校などの生きづらさを抱えている方を対象に、創作活動や地域交流などを通じて、それぞれの自立と回復のための支援をしています。

事業所のスタッフが、積丹町を訪問し、この地域で生活している当事者の方とおしゃべりをしたり、好きな活動をいっしょにしたりする交流会を開催します。

リカバリーしりべしがどんな活動をしているかを知りたい。また、気持ちを共有できる人とおしゃべりしたい。

という方などのご参加をお待ちしております！

■日 時：8月17日（木）  
13時15分～15時15分（出入り自由）  
■場 所：総合文化センター3階 多目的室  
■参加費：無料  
■参加対象：障がいや病気、ひきこもり、不登校など  
生きづらさを抱えている方とその家族  
※申し込み不要です。当日会場にお越しください。  
【問い合わせ先】 NPO 法人しりべし圏域総合支援センター  
地域活動支援センター リカバリーしりべし  
TEL 0135-23-7360

## 「子どもの人権110番」 強化週間のお知らせ

法務局では、子どもの人権についての専用相談電話「子どもの人権110番」を設置しています。いじめや虐待など子どもの人権に関する悩みをご相談ください。

また、令和5年8月23日～8月29日までは、「全国一斉『子どもの人権110番』強化週間」です。期間中は、平日の受付を延長して、土日も対応します。

子どもの人権110番 0120-007-110  
(全国共通・通話料無料)

◆受付時間 平日 8:30～17:15  
(年末年始を除く)

◆強化週間中の受付時間  
8月23日～8月29日の平日 8:30～19:00  
8月26日（土）、27日（日）10:00～17:00

【問合わせ先】 札幌法務局小樽支局  
TEL 0134-23-3012

## — 余市警察署通信 —

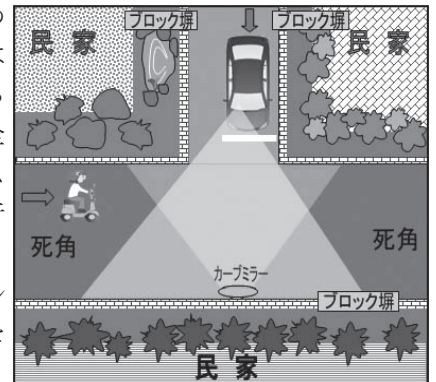
### 見通しの悪い道路の事故に注意！

本年6月、後志管内の住宅街の交差点で、小学生の運転する自転車と車が衝突する事故が発生しました。

特に、住宅街の生活道路は、見通しのきかない交差点が多く、交差点直近では十分に減速するか、停止して確認しないとお互いを確認できずに衝突してしまいます。

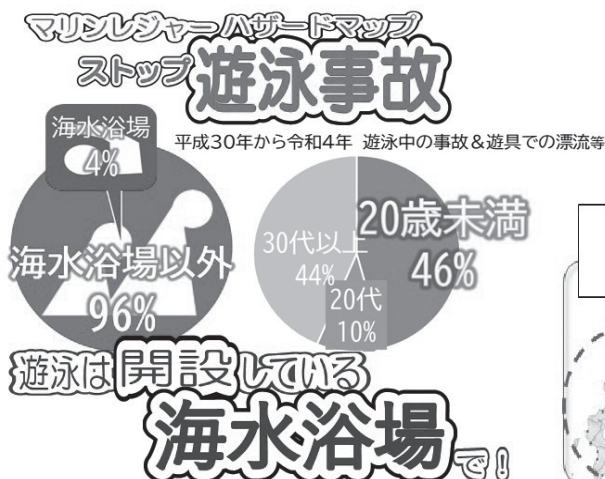
事故を防止するためにも、交差点直近では標識の有無にかかわらず減速や停車して安全確認するとともに、スピードを落として走行しましょう。

また、自転車はヘルメットを着用して命を守りましょう。



## 小樽海上保安部便り No.38

海の「もしも」は  
118番



北海道では、過去5年に48名の方が遊泳中の事故に遭っており、その約半数が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。

特に、体力のある中学・高校生の死亡事故が多く、事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。

事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」の利用をお願いします。



小樽海上保安部

〒047-0007 北海道小樽市港町5番2号  
0134-23-0481